

を行う体制づくりにも取り組んでいます。本年3月には所内の殆どすべての教員が個人の将来ビジョンを執筆した「ICTドリームズ」を上梓しました。

さて、現在本研究所が抱えている最大の課題の一つは片平キャンパスから青葉山新キャンパスへの移転です。約3年後には片平南キャンパスにある研究所は新キャンパスに移転することになります。本研究所では移転対応プロジェクト委員会を立ち上げ、建物の設計を進めてきて、現在、部屋割りや安全対策などの細部の検討を行っています。なお、ナノ・スピン実験施設等は当面片平中央キャンパスに残りますが、所が情報通信分野の中核的研究機関としてその役割を果たすためには、すべてが一体となって研究開発を行うことが必要不可欠であり、研究所の一括移転を所の基本方針としてきました。同時移転が不可能である現時点におきましては、ナノ・スピン実験施設の早期移転に努力していく所存です。ご存知のように昨今の国の財務事情は厳しい状態にあります。所長以下大学本部とも協力して発展性のある研究所を創り上げるべく努力しているところであります。移転に際しましても、同窓会会員各位のご支援を心よりお願い申し上げます。

本研究所が「全国共同利用研究所」として行っております共同プロジェクト研究も件数が毎年着実に増え、現在全国から延べ700人を超える研究者が参加したネットワークが構築されています。この共同プロジェクト研究の評価は高く、これらの研究から大規模なプロジェクト研究である科研費特定領域研究・学術創成研究や振興調整費事業などへ展開しています。平成14年から遂行してきました「IT重点研究開発プロジェクト」の3課題は、多くの顕著な研究成果をあげて昨年度終了しましたが、本年度より新たに、「高機能・超低消費電力コンピューティングのためのデバイスシステム基盤技術の研究開発」が始まり、さらにCREST/JSTの枠組みでの研究課題も2件採択されました。

これらの東北大学電気・情報系の研究成果や活動を広く社会に理解していただくために、毎年「電気・情報系産学官フォーラム」を開いております。本年度は11月14日に「東京フォーラム2007；ユニバーサルコミュニケーション時代を開く研究最前線」と題して東京国際フォーラムで開催いたしました。会員の皆様のご協力により成功裏に挙行出来ましたことをご報告すると共に、ここに厚く御礼申し上げます。

平成19年11月1日現在、矢野雅文所長をはじめ、教職員226名（うち教授26名、客員教授14名、特任教授（客員）1名、准教授19名、客員准教授2名、助教28名、非常勤の研究員20名、受け入れ研究員38名、技術職員16名、事務職員14名、非常勤職員48名）、学部学生60名、大学院前期課程院生121名、後期課程院生46名、研究生2名、総勢455名を擁しています。

この1年間の主な人事異動をご紹介します。

平成19年3月には、伊藤弘昌教授、杉浦行教授及び舛岡富士雄教授が定年により退職されました。先生方の長年にわたるご尽力に心から感謝申し上げますとともに、益々のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

この他の転任・退職・新任などは以下の通りです。

平成18年11月には、西村竜一助教授（先端音情報システム）が情報通信研究機構研究員に転出されました。

平成19年3月には、宮本克彦助手（応用量子光学）が理化学研究所研究員に、望月明助手（ブレインアーキテクチャ研究部）が株式会社ルネサステクノロジに、打矢隆弘助手（やわらかい情報システム研究センター）が名古屋工業大学助教授にそれぞれ転出されました。また、中村広記助手（固体電子工学）が退職されました。

4月には、石山和志助教授（生体電磁情報）が教授に昇任され、榊井昇一教授（マイクロアーキテクチャ研究部）が株式会社富士通研究所から着任されました。島津武仁准教授（IT-21センター）が情報ストレージシステム研究分野に、岩谷幸雄准教授（やわらかい情報システム研究センター）が先端音情報システム研究分野に、佐藤信之助教（評価・分析センター）がナノ分子デバイス研究部にそれぞれ配置換えされました。また、宮内良太助教（先端音情報システム）、松本敦助教（ブレインアーキテクチャ研究部）及び矢入聡助教（やわらかい情報システム研究センター）がそれぞれ採用されました。

5月には北形元助教（コミュニケーションネットワーク）が准教授（やわらかい情報システム研究センター）に昇任され、小出和秀助教（コミュニケーションネットワーク）が採用されました。

6月には青木輝勝准教授（情報コンテンツ）が東京大学講師から着任され、廣瀬龍介助教（誘電ナノデバイス）がエスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社に転出されました。

10月には玉田薫教授（先端情報通信領域創成）が東京工業大学准教授から着任され、廣岡俊彦助教（超高速光通信）が准教授に昇任され、金暢大助教（誘電ナノデバイス）が採用されました。

11月には、藤本和久教授（IT-21センター）が株式会社日立製作所から着任され、島津武仁准教授（情報ストレージシステム）がIT-21センターに配置換えされました。

以上の異動により、平成19年11月1日現在の各研究分野の専任教授、准教授は次の通りとなっております。

（情報デバイス研究部門）

教授：上原洋一、白井正文、枝松圭一、長康雄

准教授：小坂英男、遠藤哲郎

（ブロードバンド工学研究部門）

教授：中沢正隆、坪内和夫、村岡裕明、尾辻泰一

准教授：廣岡俊彦、四方潤一、中瀬博之、

サイモン ジョン グリープス、末光哲也

（人間情報システム研究部門）

教授：石山和志、鈴木陽一、塩入諭、玉田薫